

座席番号	
受験番号	
氏名	

合計得点	
------	--

二〇〇九年度 普連土学園中学校入学試験

二〇〇九年二月一日実施

国語 一次 解答用紙 一

問題一

問一

ア	すで	イ	雑木林
ウ	結構		

エ

あやま	オ	宿命
-----	---	----

問二

勉強する理由は、人によって違っていかまわらない。

問三

「なぜ勉強しなくはいけないのか」という問いが出てくる背景に、学びたいという意欲を持つ人が少なくなっているという事実があること。

魚

動物の死骸

人間の死

問五

リアルの持つ生々しさがもたらすショックがとても大きく、忘れられないものになったから。

問六

リアルと接触

問七

実物教育による切実でリアルな体験をすることで、「考える」という抽象的な作業が確固たるものになるから。

問八

潮の満ち引きから食べ物の旬を知るように、自然と人事が結びついて、調和しているもの。

問九

本来の身体的なリズムではなく、人間によって決められたことに従わなければならないから。

問十

想定外の現象に、マニュアル以外の知識で対応できる本当の意味での知恵を得るため。

問題二

問一

ア	期待	イ	てんじょう
ウ	全開		

エ

うわめ
-----

オ

せけん
-----

座席番号	
受験番号	
氏名	
合計得点	

二〇〇九年度 普連土学園中学校入学試験

二〇〇九年二月一日実施

国語 一次 解答用紙 二

問一 麗音は母に無実を信じてほしかったのに、母はそれを聞くこともせず、受験のことばかり話し、僕に関心を向けてくれないのが、さびしかったから。

問二 幼いながらも自分のことを気遣い、励まし、慰めてくれた弟のことを愛おしく思ったから。

問四 学校も友だちも遠く離れた存在と感じていたところに、クラスのみんなが、自分のことを信じて迎えに来てくれたことを、心からうれしく思う気持ち。

問五 真犯人を明らかにして、麗音の無実を証明するため。

問六 誰かを犯人扱いすることで、その人の心を傷つけてしまうこと。

問七 中川先生は、麗音の心のかげやきに気付けない自分を、恥ずかしく思ったから。

問八 叱られた人の心を傷つけることなく、過ちを自覚させ、自分をけがすようなことをしなくなるようにすること。

問九 イ 「ウ」には部分点があります。

問題三

ながさせ	させ	いわせる
くませ	とまどわせ	

問題四

非	無	非	未	未
無(不)	未	不	無	不